

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（大津地域）第4回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年12月14日（水） 10時00分～11時10分

場 所：滋賀県危機管理センター1階大会議室

出席者：青山 知子 委員（大津交通安全協会 女性部長）
小川 圭一 委員（立命館大学工学部環境都市工学科 教授）
鬼塚 泰二 委員（大津市建設部 道路建設課長）
後藤 佳子 委員（大津市地域女性団体連合会 副会長）
高岡 裕子 委員（大津警察署 交通第一課長）
竹平 陽 委員（公募委員）
西 耕一郎 委員（公募委員）
野村 義明 委員（社団法人滋賀県バス協会 専務理事）
丸山 忠司 委員（社会福祉法人大津市社会福祉協議会 事務局次長）
横田 久美子委員（大津市教育委員会児童生徒支援課 主幹）

（五十音順）

1. 開会

2. 地域ワーキング

（1）「地域の声」のとりまとめ結果

- ・事務局より地域の声のとりまとめ結果について説明を行った。

（2）「地域の重点項目」のとりまとめ結果

- ・事務局より地域の重点項目のとりまとめ結果について説明を行った。

（3）客観的評価マニュアルによる事業の評価

- ・事務局より客観的評価マニュアルによる事業の評価について説明を行った。

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【「地域の声」「地域の重点項目」とりまとめ結果について】

- ・地域の声というよりバス業界全体の課題として「2024年問題」がある。道路の渋滞により労働時間が長くなるが、収益の問題もあり運転手を増やすことは難しい。渋滞解消に向けて道路整備を進めてもらいたい。
- ・安全・安心につながる道路整備について、計画的に道路整備をしていくことも大事だが、事故等が発生した時や発生するおそれがある時にはピンポイントの対策も必要だと思う。
- ・事故等により、緊急で対策が必要なものについては、これまでもアクションプログラムとは別に対策を講じている。(事務局回答)

【客観的評価マニュアルによる事業の評価について】

- ・一次評価のランクⅠ～Ⅲと二次評価のランクA～Cのつながりを教えてもらいたい。また、拠点間ネットワーク整備と拠点内道路空間整備で新規掲載路線が1つずつとなっている意図を教えてもらいたい。
- ・基本的にランクⅠはランクA、ランクⅡはランクBとしている。新規事業については、事業の継続性や予算的なことも踏まえて優先度の高い箇所から取り組んでいくこととした。(事務局回答)
- ・二次評価は、ランクAばかりでもランクBばかりでも優先度合いがわからないので、それぞれの構成比を考えた方が良いかもしれない。次回以降の課題とする。
- ・南海トラフ巨大地震等が発生すると大津市も大きなダメージを受ける。防災関係の指標として「緊急輸送道路の整備」や「防災拠点間を結ぶ道路整備」等、細かく項目を分けて評価しているが、評価項目が分散することで点数が低くなっているのではないかという懸念がある。
- ・新規掲載された箇所は体感と合っている。人口密集地の整備が選定されており、選択と集中が表れた結果になっていると思うが、今後は志賀地域や南の地域をどう整備していくかが課題だと思う。

① 拠点間ネットワーク整備

- ・⑧高島大津線のリバーシブルレーンは固定した方が良いのではないか。また、大津港口交差点で2車線から1車線になるため、直前で右折合流する車があって危険を感じる。ここも含めて検討をお願いしたい。
- ・⑧高島大津線のリバーシブルレーンは危険だと思う。分かりにくく、正面衝突しそうになっている場面も何度か見かけた。渋滞もしているので、改善してもらえればと思う。2車線に分かれる箇所では、スピードを出す人もいるので、抑制できるような対策があればと思う。
- ・リバーシブルレーン区間の真ん中の車線は、普段はあまり走行されておらず、混んできると使われる傾向がある。自分より前に車が走っていないと不安になるのかもしれない。このシステムが導入されたのは、湖西道路などなかった昭和40年頃であり、運用については、現況の交通量を調べた上で、検討してもよいのではないかと思う。
- ・⑩比叡山線は、地元の学校も地域も整備を願っている箇所になるので整備を期待している。

- ・⑤・⑥南郷桐生草津線は、新しく道路が整備されれば生活道路に進入する車が減るので地元も期待している。
- ・①大津信楽線は、自転車通学している生徒もあり、歩道整備も併せてお願いしたい。
- ・⑧高島大津線は、大津市で交通量解析した結果でも混雑が激しい区間である。整備してもらえるのはありがたい。
- ・⑨本堅田衣川線・⑩比叡山線は、隣接工区で大津市も事業を実施しているので、連携していきたい。

② 拠点内道路空間整備

- ・④醍醐大津線は、生活道路で家の軒先にバスが当たるような幅員の狭い道路なので、重点項目にも入っているが歩道整備を今後も期待していきたい。
- ・④醍醐大津線は、細かな右左折が多いところなので、歩道整備を進めてもらいたい。
- ・①国道 422 号の南郷五丁目、バス停前の道路が狭く、五丁目に入るカーブは鋭角で事故も多い。近辺は新興住宅地となっており小中学生も多いが、歩道が細く、カーブで見通しも悪い。地域からも要望が出ている。
- ・①・④の路線は危険箇所として毎年のように通学路点検している箇所なので、そこが掲載箇所として挙がっているのはうれしく思う。ぜひ進めてもらいたい。また、幅員が広がると通行車両が増えるので、横断歩道の設置や安全対策も併せてお願いしたい。

【その他】

- ・堅田地区の交差点で、1年間で6件の事故があり、標識の重要性を改めて感じている。
- ・その交差点は市道と市道の交差点になるので、大津市で対策を考えていく。
- ・瀬田川渡河部の混雑は非常に問題になっている。市においても土木事務所と一緒に検討・協議していきたい。
- ・安全対策として、ボラードの設置をしてもらえるとありがたい。
- ・工事が進むと工事車両も多く走るようになるので、その際の安全対策もお願いしたい。
- ・地域から信号や横断歩道、標識の設置についての要望があるが、それぞれ設置基準が設けられている。基準に沿って、必要な箇所に設置していくが、設置することで新たな危険が生まれることもあるので、関係各所と連携し、事故が1件でも減らせるよう道路整備と併せて検討していきたい。
- ・調査検討路線の検討については、大津市も協力していきたい。